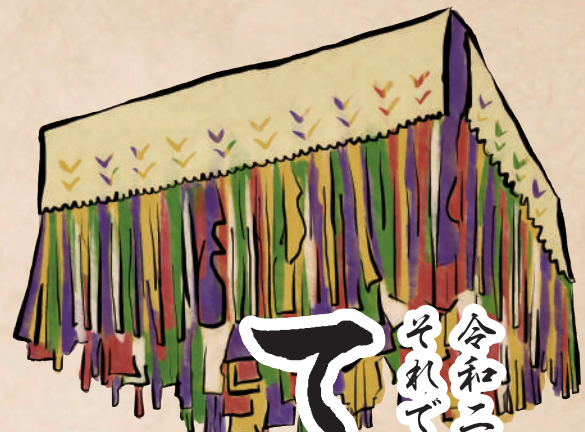


暮らすように楽しむ

東栄町のじかん

秋 2020



今年二年度の花祭は中止 それでも心は あーほーほー



※セイト衆

舞が行われる「舞庭(まいど)」に面した「セイト」。灯りと暖を取るための火がたかれ、多くの見物客が舞を見つめるその場所で、「テ〜ホヘテホヘ」「それ舞え もっと舞え」と笛・太鼓の拍子に合わせて声を張り上げ、舞い手を鼓舞する舞庭の人々のことを「セイト衆」と呼びます。花祭は、悪態祭りとも言われこの「日ばかりはどんな悪態をついても許されると言われており、ほろ酔い加減のセイト衆がつかず軽妙な悪態ぶりは、舞庭に笑いを引き起こし祭りを盛り上げます。

幸せの黄色いタオル!?
名物セイト衆も



花祭のナルホド、 そうだったのか!?

※花祭の「鬼」

花祭には、山見鬼、神鬼、茂吉鬼(朝鬼)など役鬼と呼ばれる鬼が登場します。大地に新しい生命力や活力を吹き込み自然の恵みや五穀豊穡をもたらすといわれています。地区ごとに鬼の装束や面、舞の仕草などに違いがあり、各地を巡りその違いを見比べるのも楽しみ方のひとつです。



※反問(へんべ)

神鬼が鉞を突き片足で大地を踏みしめる所作が代表的ですが、花の舞や地固め、三ツ舞、四ツ舞などでも舞い手がしゃがみながら場を踏みしめる所作のことを「反問」と呼びます。遠く平安時代に端を発する陰陽道は、花祭にも影響を与えています。陰陽道は歩行呪術を用いているといわれ反問は法力により大地を踏みしめ、真冬となって深く地中に沈んだ万物の命を司る精霊たちを呼び寄せ、命の再生を促す意味を持つと考えられています。



生まれ清まり

薬を束ねたタワシ(湯たぶき)を持って舞い、釜の中の湯を振りかけます。この湯を浴びると、1年健康に暮らせるとも言われています。

代表的な花祭の流れ

- ◎ 神迎え(滝敷い、湯立てなど)
滝から採った水を釜で沸かしながら八百万の神々を舞庭(まいど)にお迎えします。
- ◎ 舞始め(楽の舞、市の舞、地固めなど)
注連縄(しめなわ)に囲まれた舞庭を、市の舞や地固めなどで清めます。
- ◎ 舞(花の舞、三ツ舞、四ツ舞など)
花の舞で初舞台を踏み、年齢に応じて持ち物、舞の難しさが変わります。
- ◎ 鬼(山見鬼、神鬼、朝鬼など)
花祭の中でも最も重要とされる鬼。大地に新しい活力を吹きこみ、五穀豊穡、無病息災をもたらすといわれています。
- ◎ 湯ばやし
薬を束ねたタワシ(湯たぶき)を持って舞い、釜の中の湯を振りかけます。この湯を浴びると、1年健康に暮らせるとも言われています。
- ◎ 神送り
舞が終わってなお踊る神々を鎮め、元の場所へと送ることで、花祭の里は元の静けさを取り戻します。

※花祭の舞や飾り、次第などは地区ごとに異なる部分があります。



↑毎年作られる切り草と呼ばれる飾り

※花祭の色「五色」

花祭は密教の考えが色濃く残っている。密教の世界観に「陰陽五行説」があり、木・火・土・金・水の5つの要素が互いに干渉しあってこの世を形成しているという考えがあります。花祭では、この世界を東・南・西・北の5つの方向にあてはめ、舞庭に再現しています。舞庭の隅に立つ5本の柱それぞれが神道(かみみち)という細く切った色紙で中央に吊るした湯釜(びやっけ)につながっています。神道の色は、東=青、南=赤、西=白、北=黒、中央=黄と定められており、神道のほか数々の切り草を用いられ、密教の世界観をこの世に表しています。

※五色の飾りを用いない花祭もあります。



↑太鼓とお囃子が場を盛り上げます

※湯ばやし

火を焚き沸かした湯釜の周りで薬を束ねて作ったタワシ(湯たぶき)を持って行う舞「湯ばやし」。祭りのクライマックスのひとつとして、これを楽しみにしている観客も多い。軽快なテンポで盛り上がる舞の終盤に、湯釜で沸かしたお湯を湯たぶきで掬って所かまわず振りかけます。この湯を浴びることで無病息災の年を迎えられるとも言われています。

東栄町の花祭

「花祭」は七百年以上続く伝統的な神事で、国の重要無形民俗文化財にも指定されています。文化財の起源は、はつきりとは分かっていませんが、鎌倉時代末期から室町時代にかけて、熊野の山伏や加賀白山の聖によつてこの地に伝えられたと言われています。東栄町では、毎年十一月の中旬以降冬の寒い時期に町内各地区で花祭が行われています。花祭は霜月祭とも言われ、もとは旧暦の霜月に行われていました。これは、新暦の十二月から二月頃にあたり、一年で最も寒い時期です。冬の間に最も太陽と大地の生命力を、花祭を行うことで呼び醒ますことを目的に行っていると考えられています。太鼓と笛と人の声で力強く鈴をふる鳴らし足を踏みしめ、舞を繋ぐことで、神々と人が一体となつて遊び興じる神聖な雰囲気と共に、どこかアットホームな温かさで祭りが執り行われるのが花祭の魅力です。

お食事処、カフェ&喫茶店、特産品&お土産、観光スポット、アウトドアスポット、撮影スポット

※内容等一部変更となる場合があります

東栄町のじかん 秋 2020

発行/東栄町観光まちづくり協会 デザイン監修・イラスト/星原真央美
住所/〒449-0206 東栄町大字下田軒山13-7
お問い合わせ/0536-76-1780(水曜定休日)
発行日/2020年11月30日
※本誌に掲載されている情報は2020年11月30日現在のものです。

観光情報はホームページをご覧ください。 東栄町のじかん 検索

「東栄を応援したい」サポーター募集中!

東栄町観光まちづくり協会は、観光まちづくり事業を通じて、魅力あるまちを未来へつないでいくために活動しています。そんな活動に賛同し、応援いただける会員様を募集しています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

会費 1口年額1,000円以上

賛助会員 1口以上 正会員 2口以上

Pick up スポット!

東栄町「月」地区にある廃校になった小学校。学校の正面にある月の絵柄が見どころ。

フォローしてね! Instagram

月小学校(月地区廃校)

東宝苑

そば処 茶禅一 CHA ZEN ICHI
営業時間 蕎麦 11:00~14:00
かき氷 11:30~15:00
定休日 水曜・木曜(臨時休業あり)

有限会社 おもてや園
〒449-0206 東栄町御園坂118-10
TEL: 0536-76-0621

東栄町のよいもの

手作り雑貨 特産品
@marukatoel
@marukai_toei
@marukai_toei

基本営業日: 日曜と月曜
(営業日はSNSでご確認ください)
営業時間: 10時~17時ごろ
JR東栄駅前 TEL: 0536-76-1701

naory

東栄町生まれの天然素材でミネラルファンションづくり体験

日時 毎週金曜〜火曜
時間 10:30 - 12:00、14:00 - 15:30
場所 東栄町体験交流館のき山学校
TEL 0536-76-1780

東宝苑

おすすめメニュー
たっぷり国産牛で大満足!
1人鍋すき焼き御膳
1,180円(税別)

営業時間/11:00~14:00
17:00~21:00(LO. 20:30)
定休日/水曜午後、土曜午後、日曜

東栄町下田区分8-1
TEL: 0536-76-1151

やまのお肉屋さん

毎月29日はニクの日
感謝セール実施中!

美味しいお肉をおうちで!
セール情報はHPをチェック!

営業時間 11:00~16:30

Café のつきい

木造校舎の懐かしい雰囲気
校庭を眺めながらのんびり

ドリンク各種 390円〜
ケーキセット 650円
食事メニュー 学校給食セット1000円
他いろいろ

営業時間/10:00~16:00(土・日・祝のみ9:00より営業)
定休日/水曜・木曜
東栄町下田軒山13-7(駐車場有) カフェのつきい

TEL: 0536-76-1722

INTERVIEW まちのこの人



普通の主婦たちに任せられた町の事業
不安と自信の入り混じった挑戦
千代姫荘の開業は平成8年。地元の料理が食べられる場所として、町が事業として宿を開設。宿の管理と調理担当として、当時の「東栄町生活改善実行グループ」(現在の三健会)の女性たちが集められま...



山奥で時代を先取りした女性たち
夢中になれた仲間との楽しい時間
しかし時代を同じくして、農家レストランや田舎料理が世間で人気を集めるようになってくると、地元で育てた食材を地元の人が料理するとういふ本物の田舎料理が食べられる千代姫荘も注目を集めるように...



交流促進センター 千代姫荘
住所 東栄町中設楽西向13-3
電話番号 0536-76-0489
営業時間 9:00~15:00
定休日 水曜日、年末年始
※宿泊・食事・各種体験とも事前に要予約

あなたにとつて花祭とは？

花祭に開く人々にインタビュー
幼少期から舞手として参加。7年前から、神事を司り神と人間の間に立つ役割を担う「花太夫」を引き継ぎ、祭り全般に携わっている。

花祭との関わり
3歳から始めた花祭。今では、子どもに舞を教えるように。花祭を通じて子どもたちの成長を感じられることが嬉しい。地域のことを想って舞う神鬼の責任の重さを実感している。

あなたにとつて花祭
普通の生活では意識しない家族や地域の人との深い関わりや地元の誇りに気付くことができる機会。これまで、大切に受け継がれてきた中在家の花祭を自分の次の世代に受け継いでいきたい。

花祭との関わり
60歳の時に先代から引き継ぎ、約15年間花大夫を努めている。祭りに使われるわらじの貴重な作り手のひとり、他地区からも依頼を受け、作っている。

あなたにとつて花祭
花祭は、年間を通じて頭から離れることがない。先輩からまた次の世代へ受け継いでいく中で、想いの繋がりを感じることもできるもの。

あなたにとつて花祭
私にとって花祭のスタートは、イケメン探し(笑)。結婚して御園に暮らす今も、花祭は近くにありながら尊いもの。花祭の当事者である地域の人々が祭りを通じてこの地に根づき成長していく様子を、見守っていきたい。

あなたにとつて花祭
祖父から田んぼを引き継ぎ、稲作に取り組む中、花祭が五穀豊穡を願って行う祭りとして見え方が変わった。田から花祭の装飾に使う藁の供給したこともあり、祭りが暮らしの一部であることを実感するようになった。

オンラインコンテンツ情報
<オンライン配信チャンネル>
おうちで! 東栄町のじかん
まちの素材を活かして楽しむスペシャリストをゲストに招き東栄町の魅力をSNS等で発信中!

REPORT 東栄町観光まちづくり協会の活動報告
サイクリスト歓迎のまち
準備事業が始まりました!
近年サイクリストの来訪が増えている東栄町では、サイクリスト歓迎のまちとして環境整備を計画しています。

花まつりの湯
天然療養泉
花まつりの湯
北設楽郡東栄町下田花田21 TEL:0536-77-0268
営業時間 平日10:00~20:00(19:00最終受付) 土日祝 10:00~21:00(20:00最終受付) 定休日/水曜日(祝日の場合は営業)

BEAUTY TOURISM ビューティーツーリズム
「BEAUTY TOURISM WEEK」を開催しました。
東栄町での美をテーマとした地域ブランドづくりとして、観光まちづくり協会が取り組んでいる「ビューティーツーリズム」。その最初の企画として11月21~25日にかけて、日帰りの体験ツアーを開催しました。

まちの暮らしとこんな場所
子供たちが楽しむ山のバンド練習場
素材にこだわる本格ベーカリー
New 素材にこだわる本格ベーカリー
東栄町本郷地区に移住した竹内さん夫婦が7月にオープン。パンには3種類の粉を使い分け、レーズン酵母ははじめ自家製酵母を使用、また焼き菓子には愛知県産の薄力粉を使うなど随所にこだわりが。香ばしく焼き上がったパンは「ずっしり」と食べ応えがあり、小麦の豊かな風味が楽しめます。